

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
(新型インフルエンザ等対策本部)
知事メッセージ

令和3年8月11日
青森県危機対策本部

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

先日の定例記者会見でも申し上げたとおり、青森県内でも、各地でクラスターが発生し、感染経路不明の案件や県外から来た方との接触による感染も増加するなど、感染の拡大が見られ、大変危惧される状況です。

最近では、家族の誰かが感染し、家族全員に広がるケースや運動に関する部活動で多数感染するケースも増えています。また、感染力が強く重症化しやすいL452R変異株に置き換わりつつあり、食事や長時間の会話以外でも容易に感染する事例もあります。比較的若い人でも重症化する可能性が高いことから、このまま感染拡大が進むと再び病床がひっ迫し、医療崩壊につながりかねません。

そこで、普段会わない方々と接する機会も増えるお盆を目前にし、改めて、県民の皆様方に感染拡大防止に向けた注意喚起とお願いをさせていただきます。

このところ、宴会やバーベキューで感染症対策が不十分な場合に感染が広がる事例が多くなっており、お酒で気が緩み、感染リスクが高まる行動をしている事例も見られます。

また、8月の感染データによると、時節柄、「帰省者及び県外から来た方」に関連する感染割合が約21パーセントを占め、これに

「普段一緒にいない人」との飲食等による感染割合を合わせると、実に3割以上が、これまで繰り返し注意を促してきた「普段一緒にいない人」との接触によるものとなっています。

会食等は、「普段一緒にいる人」と少人数・短時間で感染症対策を徹底し、また、お酒が入る場合は適量としてください。

例年であれば、同窓会やクラス会なども開かれる時期ですが、「普段一緒にいない人」との会食・会合等は、大人数でなくても感染リスクが高まるので、できるだけ控えましょう。

お盆やお墓参りでは、家族や親戚などであっても「普段一緒にいない人」と接することもあると思いますので、会話等の際には適切な感染防止対策をとってください。墓前でお供え物を頂く際も十分注意が必要です。実家や親戚宅における大人数での会食・会合等も感染リスクがより高まるので、できるだけ控えるようお願いいたします。

変異株でも感染防止対策は同じです。マスクの適切な着用、人との距離の確保、こまめな手洗いや換気を、これまで以上に徹底しましょう。

また、風邪症状はもちろんのこと、だるさや喉・鼻の違和感が続くときは、人との接触を避け、速やかに医療機関に相談してください。

なお、首都圏や関西圏をはじめ、全国各地でこれまでにない勢いで感染が拡大しており、都道府県をまたぐ移動は、今まで以上に注意が必要です。

感染症患者が多数発生している県外地域との往来については、延

期等を含め慎重に判断していただき、特に、緊急事態措置及びまん延防止等重点措置の実施区域との不要不急の往来を控えるようにしてください。

こうした感染症患者が多数発生している県外地域にお住まいの方におかれましては、大変心苦しく、心待ちにしていた皆様方には大変申し訳ありませんが、夏休みやお盆における青森県への帰省や旅行等を控えるようお願いいたします。

感染拡大を食い止めるためには、お一人お一人が、あらゆる場面で感染リスクを避け、これまで以上に慎重な行動と感染防止対策を徹底することが重要です。ワクチン接種を完了しても感染が確認されている事例が見られているため、ワクチン接種した方も同様です。

何とぞ皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。